

2004年度日本発達心理学会関西地区懇話会活動報告

1. 2004年度決算

板倉昭二（事務局長）

当日は欠席のため、会長が報告しました。

2. 2004年度活動報告

内山先生のお世話で、2005年1月22日研究会開催（於：同志社大学）

興津 真理子氏、明和政子氏に話題提供をいただいた。

3. 2005年度

6月にシンポジウムを開催予定。

4. 2005年度活動方針

前期のシンポジウム，講演会，あるいは研究会をどのような形でもつか。

2006年3月の九州大学の大会で，今年度に引き続き，「キレる行動を科学する」の第2回目の自主シンポをおこなうことが予告されている。第一回はサブタイトルを，「その進化生態学的適応価」，としておこなうが，第2回目はどのような側面に焦点を当てるかの議論を頂きたい。

5. 昨年12月まで，暫定的に事務局は大阪学院に置かれ，荘巖が事務局長役を兼務したが，12月で事務局機能は京都大学板倉研究室に移った。

6. 幹事会メンバー

（*は領域別監事）

会 長	荘巖舜哉	（大阪・兵庫地区）大阪学院大学
事務局長	板倉昭二	（京滋地区）京都大学文学部
幹 事	内山伊知郎	（京滋地区）同志社大学文学部
	竹下秀子	（京滋地区）滋賀県立大学
	*高井直美	（京滋地区）ノートルダム女子大学
	*子安増生	（京滋地区）京都大学教育学部
	*遠藤利彦	（京滋地区）京都大学教育学部
	成田健一	（大阪・兵庫地区）関西学院大学
	小松孝至	（大阪・兵庫地区）大阪教育大学
	*安藤明人	（大阪・兵庫地区）武庫川女子大学文学部
	天ヶ瀬正博	（奈良・和歌山地区）奈良女子大学